日本貨物鉄道労働組合　中央本部組織部　http://www.jrfu.net/

組織部速報

２０２３年 6月１５日
Ｎｏ．７１

JR東日本会社で発生

本人の持病を無視した強制転勤は許さない！

八王子支社豊田運輸区所属の組合員Ａさんに、保健師や産業医の意見を無視して転勤が発令され問題となっています。

【 経 緯 】
➤①組合員Ａさんは、駅で働いていたが人間関係で心身状態に異常が発生し就業困難となった。➤②保健師や産業医と相談し、就業環境を変えるために車掌職場へ異動した。➤③就業環境が変わり心身状態が改善した。➤④5月13日に区長と副区長から、駅への転勤の話がされた。➤⑤組合員Ａさんは、駅での心身状態の異常がフラッシュバックし、精神的に追い込まれ出勤ができなくなった。➤④6月3日久しぶりに乗務すると、乗務途中に帰区が指示され、戻ると区長と副区長から駅への転勤事前通知(6/15発令)が手渡された。➤⑥組合員Ａは出勤できない状況に追い込まれ、病気休職となった。

駅への転勤が話された組合員Ａの「駅では働けない」との必死の訴えを無視して、管理者は異動の事前通知を渡しました。ＪＲ東日本会社では、横浜支社国府津運輸区でも懲罰的日勤が発生しています。組合員を人間として扱わない管理者は許されません！

ＪＲ東労組は、定期大会において「企業権力を使った人間破壊であり、犯罪行為」「組織の総力を上げ、断固たたかっていくこと」「会社が強行するのであれば、社会的にも明らかにしていく」ことを決定しました。

異常な人事を許さない！
JR東労組と連帯して闘おう！